

## 予算審査特別委員会厚生文教分科会

1 開会日時 令和2年12月7日(月)午後1時0分

2 閉会日時 令和2年12月7日(月)午後1時23分

3 会議場所 議会委員会室

4 出席委員

2番	大森 進次君	5番	光成 良充君	9番	原田 素代君
11番	松田 勲君	13番	福木 京子君	15番	岡崎 達義君

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

市長	友實 武則君	副市長	前田 正之君
副市長	川島 明昌君	教育長	土井原康文君
市民生活部長	作本 直美君	保健福祉部長	入矢五和夫君
教育次長	有馬 唯常君	市民課長兼 協働推進課長	稲生真由美君
環境課長	大窄 暢毅君	社会福祉課長	原田 光治君
子育て支援課長	馬場 弘祥君	健康増進課長	石原万輝子君
介護保険課長	谷名菜穂子君	教育総務課長	金島 正樹君
学校教育課長	家森 康彰君	社会教育課長兼 スポーツ振興課長	西崎 雅彦君

7 事務局職員出席者

議会事務局長	元宗 昭二君	主査	細川 伸也君
--------	--------	----	--------

8 審査又は調査事件について

1) 議第73号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算(第7号)の厚生文教常任委員会所管部分

9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○分科会委員長（光成良充君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会厚生文教分科会を開会いたします。

まず初めに、市長から他の公務のため遅参すると報告を受けておりますので、お知らせをいたします。

では、これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）の厚生文教常任委員会所管部分であります。

執行部から補足説明がありましたらお願いします。

なお、説明については補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようお願いをいたします。

○市民生活部長（作本直美君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 作本部長。

○市民生活部長（作本直美君） では、市民生活部案件といたしまして、協働推進課から1件補足説明をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） それでは、協働推進課から1件補足説明させていただきます。

補正予算書19ページ、補正予算資料9ページ、それから本日お配りしております市民生活部の資料1ページを御参照ください。

それでは、補足説明させていただきます。

一般財団法人自治総合センターが行う宝くじコミュニティ事業の一般コミュニティ助成事業助成金の決定によるものです。令和2年度分として追加で3自治会が採択される見込みとなりましたので、増額補正するものでございます。歳入歳出とも520万円を増額計上しております。実施時期につきましては資料のとおりでございますが、穂崎地区ほか2地区ございまして、それぞれコミュニティ活動備品を購入予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（光成良充君） 質疑については部ごとに行きますか、それとも一括で行きますか。一括でよろしいですか。

それでは、保健福祉部お願ひいたします。

○保健福祉部長（入矢五和夫君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 入矢部長。

○保健福祉部長（入矢五和夫君） 保健福祉部関係につきましては、本会議場で説明させてい

ただいたとおりでございます。補足説明ございませんので、よろしく願いいたします。

○分科会委員長（光成良充君） では、教育委員会。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 議第73号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）に関係いたします教育委員会所管部分につきましては、本会議のほうで御説明申し上げておりますので、補足説明はございません。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 執行部のほうからの説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

原田副委員長。

○分科会副委員長（原田素代君） 議案書の4ページになるんです、一般会計の補正予算の4ページ、繰越明許費、教育費、保健体育費、東京オリンピック推進事業885万2,000円、すみません。たしか聖火リレーの費用というふうに聞いた記憶があるんですけど、もう1度ちょっと説明していただいていいですか。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） こちらにつきましては、東京2020オリンピックの聖火リレーが新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年5月20日に延期されたことに伴い、予算の繰越しを行うものでございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） よろしいですか。

原田副委員長。

○分科会副委員長（原田素代君） ちょっと懸念があるんですが、要するに来年の5月20日に聖火リレーを予定しているということなんですが、場合によってはどうなるか分かりません。その際に、この予算はあくまで聖火リレーの経費ということで、ほかにオリンピック関連に用途が変わる、流用されるということはないと思っていいんですか、その確認を。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） この繰越明許費につきましては、オリンピックの聖火リレーに関連する事業費でございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 原田副委員長。

○分科会副委員長（原田素代君） ですから、今後、オリンピックの予想がつきません。何かいろいろな形で、変わった形で取り組むということの議論が今されています。ただ、うちのこの885万2,000円はあくまで聖火リレー用の費用なので、その他のことでオリンピック関連予算に食い込むことはないと思ってよろしいですかという質問です。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） この費用につきましては聖火リレーの予算で、ほかの費用に充てることはございません。

○分科会副委員長（原田素代君） それで結構です。

○分科会委員長（光成良充君） 他にございませんか。

福木委員。

○委員（福木京子君） 説明のところの、説明書のほうの9ページなんですけど、9ページの生活保護の関係なんですけど、これが4,300万円ほどの補正になつとんですけど、これは現実コロナの関係で相当生活が厳しい状況があつてこういうふうな状況になつとんでしょうけど、現状はどんなでしようか。世帯とかそういう状況、説明願いたいと思います。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁をお願いします。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） このたびのその2,000万円の生活扶助費、内容的には医療扶助になるんですけども、こちらの影響としましてはコロナの影響での増額補正ではございませんで、既存の被保護者の方の中に入院とか手術とかで高額な治療費が使われた方が複数今年度ございまして、そのための補正をさせていただくものです。

あともう1つの2,311万円につきましては、前年度の額の確定に伴う返還金でございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 分かりました。複数ということですから、それは相当大変な状況だと思えます。

そうしたら、当初予算のこの件数なんかは変わってはいませんか。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 当初予算の策定時に想定しております保護の人数ですとか世帯数のほうは超えてはおりませんが、ちょっと医療費部分が高額に今年度要したということでの補正でございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そうしたら件数は変わらないということですね、そういうことですね。それでよろしいです。

いいですか、続けて。民生費の関係だけですね。

○分科会委員長（光成良充君） いやいや。

○委員（福木京子君） 全体ですね、すみません。

そしたら11ページ、説明書の11ページの教師業務アシスタントというのがありますよね。小学校のほうですよ、教師業務アシスタント配置事業というふうな説明があるんですが、これはやっぱりコロナの関係でいろいろ少人数というんか、そういうような状況になったり、いろんな仕事が増えましたよね。その辺で県からそういう職員を配置や、そういう状況ですか。ちょっとその辺を説明願いたいと思います。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 教師業務アシスタントについては、コロナとは関係なく年度当初からつけている事業です。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そしたら、もうコロナに関係なく最初からこれは県に要望して。県からのあれですか。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 県からのものです。

○委員（福木京子君） はい、分かりました。

○分科会委員長（光成良充君） 他にございませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 予算書でいうたら19ページの、4目の障害者福祉費の中で13節と8節か、委託料と備品購入費あります。説明資料では7ページにはシステム改修に、障害者の支援法に関するシステム改修と書いてあって、これは保守委託料になってるんですが、具体的にど

ういった改修になるのか、分かれば教えていただきたいのと、それからその下の事業費備品ですよね、16万4,000円、これは手話に関するサービスの備品購入費になってますが、具体的にどういったものを購入予定なのか教えていただきたいのと、あと説明資料のほうの9ページで、さっき言われた追加になったコミュニティ、宝くじの関係ですね、これが桜が丘、穂崎と3町内会、区ですかね、決まったということで、これは今年度、今まで決まったプラスアルファ3地区ということなんでしょうか。その辺ちょっと教えてください。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 予算書19ページの4目障害者福祉費の13節委託料についてですけども、こちらシステム保守等委託料で計上させていただいております99万円は、3年に1回、障害者の関係の自立支援給付費の報酬の改定がありまして、その報酬改定に伴うシステム改修が必要ということで計上させていただいております。

次に、18節の備品購入費ですが、こちら県の遠隔手話サービス等実施体制整備事業としまして県の補助をいただいて実施するものですが、内容的には遠隔手話を行うためのノートパソコン、ヘッドセット、ウェブカメラが内容的には含まれております。

社会福祉課部分は以上です。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○社会福祉課長（原田光治君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） コミュニティ助成事業でございますが、令和2年度は既に2地区いただいております。今回につきましては宝くじの売上げが好調だったことと、コロナウイルスで地域のコミュニティ活動も低迷しているということで、早期に配布して活性化してもらうためということで追加になった3地区でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（光成良充君） 松田委員、よろしいですか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。最初の障害者の支援事業のほうは分かったんですけど、だからこれ今回の障害者総合支援法改正に伴うと書いてあるんですけど、基本的には3年に1回の報酬だけの話ですかね、ちょっと確認なんですけど。

それから、手話サービスのほうはノートパソコンとウェブカメラとか言われてるんですけど、16万4,000円になってますけど、この金額で大丈夫なんでしょうか。1台購入ということですか。これはどなたが使われるんか教えていただきたいのと、それからコミュニティ事業宝くじの件なんですけど、プラス3地区ということはすごいありがたい話なんですけど、基本的にこれ申請はいつまでにして、いつ頃決定するのか、その辺のちょっと流れを教えてください。

と思います。それで、今現在何地区出されてこういう結論が出たのか、分かれば教えてください。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） システム保守委託料につきましては、障害者総合支援法改正となっておりますけど、内容的にはこの報酬改定が改正内容ということで、報酬改定に伴う部分のシステム改修費ということでございます。

それと、事業備品のノートパソコン等1セットなんですけども、現状で使用する方の想定としましては、市で今来ていただいております手話通訳者の方がおられまして、その方が必要な際に遠隔手話を行っていただくような想定をしております。

以上です。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 宝くじの件でございますが、この今回の3地区については令和3年度で応募している中から前倒しで3地区決まったという形になっております。

以上でございます。

○委員（松田 勲君） いやいや、答えが違う。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 申請数につきましては、令和3年度は11地区でございます。

以上です。

○委員（松田 勲君） いつまでに申し込んでとか、流れをちょっと。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 令和3年度につきましては、8月末までに市のほうに一度出てきたものを県のほうに既に送った中から決定しておりますので、もう県に出たものから選ばれております。

○委員（松田 勲君） 通常いつ決まるのか、ちょっと教えて。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 通常は来年の3月末に決定するものでございます。それで、令和3年度の実施になります。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） よろしいですか。

福木委員。

○委員（福木京子君） 説明書の11ページの特別支援学級、小学校のほうですけど、特別支援学級で西小が2教室、東小学校が1教室、山陽北小学校が1教室ですね。計4教室なんです

が、これの教室、西小なんかは空き教室があるからいいんですけど、東小とか北小なんかは結構一杯なんですけど、特別支援学級のその状況というのはどういうふうになるんですか、もし増えたら。その辺を教えてください。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 令和3年度における先ほどの特別支援学級の教室増なんですけど、西小学校においては多目的教室2教室を活用、それから山陽東小学校においては相談室を活用、それから同じく山陽北小学校も相談室を活用して運営のほうを行うように予定しております。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員。

○委員（福木京子君） この特別支援学級については今国会でも問題になってまして、基準がないということで、そういう相談室とかいろんな教室を利用してやってるんよね。何か四、五年前かな、総務文教委員会で一緒についていかせていただいて、桜が丘小学校、ここを見させていただいたときはもう教室が満杯で、1つの教室を2つに分けてされるとか、教員室はもう満杯で先生の机も一杯で身動きも大変だという状況があって、その後四、五年ほどたつとるんですけど、現状の特別支援学級、そういうところの現状は増築はしなくてもいいのか、また現状を、何とか工夫してされてるのか、そういう現状をちょっと教えてください。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員の御質問にお答えいたします。

学校教室の状況ですけど、現状、今さっきも言ったようないろいろな教室を活用しながら特別支援学級等を行っております。山陽西小学校等は人数とかが減少傾向でありますので、そういった部屋が使えておる状況でございます。先ほどの山陽東小学校、北小学校においても、ここ近年はほぼ横ばいのような状況ですので、そういったことを踏まえて学校等も協議を行って決めております。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 職員室なんかはどんなんですか、職員室の状況とか。それから、ついでにというか関連ですから、桜が丘小学校の状況なんか……。

○分科会委員長（光成良充君） 福木委員、中の予算のほうからちょっと。教員のほうまでは離れるので。



○委員（福木京子君） だから、その予算を。その現状だけ答弁してください。職員室なんかの現状も。

○分科会委員長（光成良充君） だから、それが。

○委員（福木京子君） どうして。予算関係があるがん。

○分科会委員長（光成良充君） いえいえ、特別教室じゃない。

○委員（福木京子君） いや、これは特別支援学級のことですよ。だから、先生が増えるわけで、職員室も増えるから、その関連の分でどうかという現状を聞いたわけですよ。

○分科会委員長（光成良充君） それを。答えますか。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 桜が丘小学校においては、以前に増築の工事を行っておりまして、教室のほうも改善がされて活用ができておる状況でございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 他にございませんか。

福木委員。

○委員（福木京子君） 説明書の13ページに、保健体育総務費で職員の人件費が、職員が5人から7人になってるんですけど、これはやっぱり2人も増やすということはオリンピックの関係とか、何かそういう関係あるんですかね。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 福木委員の御質問にお答えします。

保健体育費の職員増に関わることについてですが、こちらのほう今年度オリンピックの事業等大規模な事業があるということで人員のほうが増員となっております。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 他にございませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） これ財源更正なんで突っ込む話じゃないんですけど、資料でいうたら12ページ、文化財保護費ですね、この資料館のちょっと概略を教えてほしいなど。改修の概略をちょっと、吉井の資料館ですね。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） こちらにつきましては昭和2年に建築をしてから築93年を経過し、各所の老朽化が著しいものでございます。今回の改修工事につきま

しては、建物の外壁塗装、窓枠の交換、修繕、窓ガラスのUVカット化を行うものでございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 松田委員、よろしいですか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） これは進捗状況というたらどんなんですか。

○分科会委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○分科会委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 現在のところ、足場を組んでおる状況でございます。工事のほうはこれからでございます。

以上です。

○分科会委員長（光成良充君） 他にございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（光成良充君） では、他に質疑がなければ、これで質疑を終わります。

以上で当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（光成良充君） では、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算審査特別委員会厚生文教分科会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後 1 時 23 分 閉会